

# 第14回新潟リハビリテーション研究会 兼 日本リハビリテーション医学会関東地方会生涯教育研修会

日時：2011年10月1日（土） 12:30～18:00

会場：新潟大学医学部 有壬記念館

新潟市中央区旭町通 1-757 TEL 025-227-2038・2039

## プログラム

### 1. 新潟リハビリテーション研究会役員会 (12:30～13:30)

会場 新潟大学医学部有壬記念館 1階小会議室

### 2. 新潟リハビリテーション研究会会員総会 (13:35～13:45)

会場 新潟大学医学部有壬記念館 2階大会議室

\* 日本リハビリテーション医学会会員、新潟リハビリテーション研究会会員の皆様は全員ご参加下さい

### 3. 一般演題 (13:50～15:20)

座長 下越病院 リハビリテーション科 張替徹

- 1) 「新潟県高次脳機能障害支援普及事業について -第2回：長期支援の必要性和コーディネーターの紹介-」  
工藤由理<sup>1)</sup>、福島久美子<sup>2)</sup>  
1) 総合リハビリテーションセンターみどり病院 リハビリ科、2) 新潟県高次脳機能障害相談支援センター
- 2) 「大腿骨頸部骨折リハビリテーションの実態調査  
-日本リハビリテーション医学会患者データベースの分析-」  
曾川裕一郎<sup>1)</sup>、データマネジメント特別委員会<sup>2)</sup>  
1) 新潟県立リウマチセンター リハビリテーション科、2) 日本リハビリテーション医学会
- 3) 「脳卒中片麻痺患者に対するボトックス治療効果」  
崎村陽子、小股整  
新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科
- 4) 「適切な『退院』を目指して ～急性期病院における回復期リハビリテーション病棟の取り組み～」  
西川太郎<sup>1)</sup>、田中健<sup>1)</sup>、阿部和樹<sup>1)</sup>、高橋明美<sup>1)</sup>、渡邊正人<sup>2)</sup>  
1) 桑名病院 リハビリテーション科、2) 同 脳神経外科
- 5) 「回復期リハビリテーション病院における脳卒中院内クリニカルパスの適用」  
高橋勇二<sup>1)</sup>、中村謙吾<sup>2)</sup>  
1) 浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション科、2) 同 内科
- 6) 「中国ハルビン市第一医院における針治療、物療、リハビリの紹介と展望」  
黄秋賢（こうしゅうけん）  
ハルビン市第一医院（中国） 鍼灸理学療法科

### 4. 薬事案内 (15:20～15:40)

「ロキソニン外用剤の有用性について」 第一三共株式会社

— 休 憩 (15:40～16:00) —

### 5. 教育研修講演

- 1) 「成長期野球選手における投球障害予防のリハビリ的アプローチ」(16:00～17:00)  
《座長》 亀田第一病院 リハビリテーション科 部長 村岡 幹夫  
《講師》 新潟リハビリテーション病院 院長 山本 智章

成長期スポーツ障害の中で野球肘は時に深刻な関節機能障害を発生することからより効果的な予防対策が必要である。そのためには医療機関でのスポーツリハビリテーションの知識や技術をスポーツ現場へわかりやすく提供することが重要である。われわれの取り組みを紹介する。

- 2) 「在宅医・家庭医としての実践 ～リハ医研修の行方～」(17:00～18:00)

《座長》 新潟医療福祉大学 医療技術学部 教授 真柄 彰  
《講師》 折居内科医院 院長 折居 和夫

現在地に内科医院を開業して、在宅医療医とプライマリケア医（家庭医）の二本柱で実践してきた内容を紹介します。そしてその基礎と原動力は、新潟県内での三年半のリハ科研修であった。20数年前に研修で出会った、他科との連携や他職種協働、地域・社会・福祉・心理等の視点、頸損・難病・癌末期・失語症・嚥下障害等のトータルケア、家族を含めた全人的医療などは、現在の医療全体の問題そのものである。リハ医学の先進性と全体性を反映していると考えている。